

## 松蔭高等学校「Blue Earth Project」とは

---

「Blue Earth Project」は、地球温暖化問題をはじめ、水の問題、世界の貧困、食問題等々、複雑に絡まるグローバルな諸課題と先進国の生活スタイルのつながりを、100時間近くの学習会と吉野の山中等でのフィールドワーク等で学んだ後、青く美しい地球の責任ある一員として、地球にも人にもやさしい、持続可能な幸せな社会の実現に向けて出来る身近な第一歩を考え、その身近なアクションを行ったり、各種イベントを企画して社会の人々にグローバルな諸課題と、生活スタイルの見直しの第一歩を訴えていく社会貢献型教育活動です。

また、「女子高生が社会を変える。」をキャッチフレーズに、学校の中ではなく、社会に出て行って、世の中に対して、大人や企業人ではなく、次代を担う女子高生が自分の言葉で思いを真摯に伝える活動です。それが、若者や女性、そして、あらゆる世代から、大きな共感を呼び、女子高生が社会を変え、国にもその声を届けてきました。

今年も、そのメリットを最大限に生かしつつ、世の中のあらゆる年代層に対して、環境保全や国際貢献をテーマとして、持続可能な社会実現への意識向上に貢献しています。

なかでも、地球温暖化に対しては、ツバルや、ヒマラヤや、南極北極の悲惨な状況を研究し、それらが、先進国の生活スタイルと結びついていることを改めて考え、今この瞬間にも、そして、近い将来にも、起こりえる悲劇を無くすアクションを考えていました。同時に、この活動では、大きな課題に対して、まずはアクションを起こそう、そのためにはだれでもちょっとした心遣いで出来る身近なアクションを大切に考えていて、そういう意味からも、今回、ウォームビズ活動を訴えていくことにしました。